

平成28年度 事業計画

自 平成28年4月 1日

至 平成29年3月31日

一般財団法人台湾協会（以下「当協会」という。）は、日台間の親善と学術・文化の交流を積極的に推進し、会員および台湾関係者の交流親善・相互理解・共栄を図るべく、下記の事業を推進する。

記

1. 日台間の相互理解の促進

台北駐日経済文化代表處、公益財団法人交流協会、その他台湾関係諸団体と連携し、日台間の友好親善と学術・文化の交流を推進する。

(1) 日台間の学術・文化交流等に関する事業

学識経験者等の講演会開催等を通じて、日台の歴史・文化・現状等について啓蒙・研修・意見交換などを行う。また、昨年好評であった寄席を台湾で継続開催する。

(2) 懇親会の開催および支援

4月9日(土) 東京・九段下のホテルグランドパレスにて「交礼台湾の会」を開催するほか、台湾を含めた東京以外の熊本、大阪においても同様な趣旨の会を開催する。また、各所の「台湾の会」開催を支援し台湾関係者の交流を促進する。

(3) 日本台湾学会等の教育・学芸団体への支援

(4) 日台学生の交流に対する支援

2. 台湾関係重要図書・資料の収集および活用利便性の向上

台湾関係の図書、地図、写真等諸資料の充実を図り、一般研究者および会員の活用の利便性向上に努める。

劣化有用図書の修復を継続し、併せて一部図書のデジタル化を台湾中央研究院台湾史研究所と共同で実施する。また、所有の映像ビデオやDVD等が容易に閲覧できるように整備するとともに、貴重な資料やDVD等の収集に努める。

3. 慰霊法要

(1) 日本における台湾関係邦人物故者慰霊法要の開催と慰霊塔の維持管理

10月1日(土)築地本願寺において台湾関係邦人物故者追悼法要を齋行するとともに、同寺院境内に設置されている慰霊塔の維持管理を行う。

なお、台湾関係物故者については希望により合祀奉安する。

(2) 台湾における日本人物故者慰霊祭への参加

台湾日本人会が主催し、公益財団法人交流協会の協賛により、11月中旬頃台北市と台中市、16日(水)に高雄市においてそれぞれ開催される予定の慰霊祭に当協会からも参列する。

(3) 台湾出身戦没者慰霊法要

5月26日(木)東京台湾の会、日本李登輝友の会との共催で、奥多摩の台湾出身戦没者慰霊碑・慰霊塔前で法要を齋行する。

4. 会報の発行

「台湾協会報」は、当協会の広報機関紙として、さらに当協会と会員の連絡および会員相互の連絡の場として極めて重要である。読者の要望を十分反映した編集に努め、毎月定期的に発行し、会員及び関係先に配布する。

5. 慶弔等

高齢者への敬意を表し、数え年88才及び100才に達した会員には、年初に記念品を贈呈する。また、会員のご不幸に際しては弔電を打ち、お供物を贈る。

その他、関係者の叙勲受章などの慶事には祝意を表する。

以上